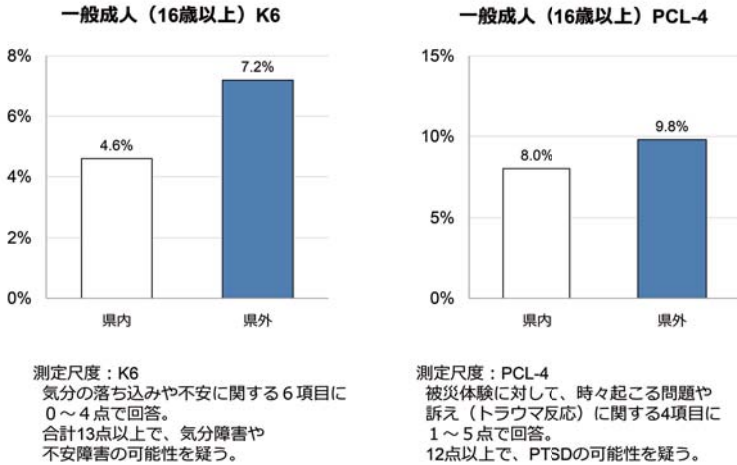


【調査時住所別（県内・県外）こころの健康度 支援が必要と考えられる人の割合】



第42回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

2019年度調査の回答者において、2019年度調査時の住所を福島県内と県外に分類し、こころの健康度をK6及びPCL-4を用いて比較しました。その結果、一般成人（16歳以上）のK6で支援が必要と考えられる人の割合は、県内よりも県外の方が高い傾向がみられます。日本の先行研究（川上，2007）における割合（3.0%）と比較すると、県内は約1.5倍、県外では約2.4倍の高さとなっていることがわかります。同様に、一般成人（16歳以上）のPCL-4においても支援が必要と考えられる人の割合は、県内よりも県外の方が高い傾向がみられます。

本資料への収録日：2019年3月31日

改訂日：2022年3月31日